

神奈川県立有馬高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和6年度 有馬高等学校 第2回 学校運営協議会
開催日時	令和6年10月25日(金)
開催場所	書面開催
出席者	太田奈緒様(湘北短期大学教授) 浅井大輔様(社家小学校長) 久保谷由美子様(有馬中学校長) 安藤壮吾様(後援会副会長) 吉川貴嗣様(同窓会会長) 朽木正美様(社家自治会長) 岡本武志様(PTA会長) 藤原敬子(有馬高等学校長)
会議資料	(1) 令和6年度 学校評価報告書(中間評価) (2) 「総合的な探究の時間-公立高校におけるユネスコスクールの持続的取組みと促進の模索-」(別紙1) (3) 令和5年度 6年度英検受験者及び合格率対比表(別紙2) (4) 授業改善要項(全3回)(別紙3) (5) サポートドックスケジュール表(別紙4) (6) Arima進路Days 特別夏期講座要項(別紙5) (7) 有馬防災キャンプ生徒しおり、有馬防災キャンプ報告書(別紙6) (8) 研究授業のお知らせ
議事録	<p>○学校評価報告書、学校行事についての意見・感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間において、持続的な取組をされており、先生方の指導の大変さを感じます。また、生徒も意欲的に参加していることがわかる。 ・ユネスコスクールの取組を深化させ、生徒がさらに自主的・自発的に取り組む姿勢を持つことができるよう継続していくとよい。 ・授業改善の研修会を計画的に行い、研究授業も行っていることは評価できる。教員と生徒でよりよい授業を一緒に作っていく雰囲気ができると良い。 ・文化祭では生徒の自主的な取組が感じられた。他の取組(特色ある教育・授業・地域との協働等)でも生徒が自主的・自発的に行動ができるよう、学校として取り組んでいかれると良いと思う。 ・生徒への進路指導の支援を是非お願いしたい。 ・宿泊の防災キャンプ体験は、多くの生徒に体験して欲しい。引き続きの実施を望みます。 ・防災キャンプは大変良い取組である。継続発展できるよう検討・工夫できると良いと思う。 ・自治会との防災訓練にも参加してもらえるとありがたい。 ・地域のつながりを大切にして欲しいので、「あいさつ」のできる生徒を育てて欲しい。 ・学校管理における、名札着用の徹底は評価できる。 ・着実に活動を進められ、振り返りをしながら適切なPDCAサイクルを回している。今後も生徒たちのために尽力して欲しい。 ・今年度から有馬高校の特色が各種行事で強く発信されていることを感じる。 ・「有馬高等学校 これからの生徒指導」について、PTAの会議でも議題として取り上げていきたい。